



令和3年度臨時的任用職員及び育児休業代替任期付教職員研修

子供を笑顔にしてほしい

4月2日（金）、水戸教育事務所2階大会議室において、令和3年度臨時的任用職員及び育児休業代替任期付教職員研修を開催しました。子供たちの前に立つ前に勤務の在り方を研修しようと、81名が参加しました。

湯浅友明所長は、挨拶の中で次のように期待をかけるとともに、教職員の仕事について理解を求めました。

- 全体の奉仕者として、立場をわきまえて職務に当ってほしい。
- より専門的な力を身に付けてほしい。
 - ・児童生徒も保護者も皆さんを「先生」と呼ぶ。県民の期待に応えてほしい。
 - ・楽しく分かる授業を行うことが、子供に力を付けることに繋がる。
 - ・学習指導だけでなく、生徒指導についてもきちんと学んでほしい。
- 学校は組織、皆さんは組織の一員である。
 - ・時には苦しい時もあるだろうが、一人で抱え込まないでほしい。
 - ・周りの先生方に自分からどんどん聞いてほしい。
 - ・心と体が健康でなければ、よい人間関係は築けない。

講義Ⅰでは、人事課の藤枝祥子管理主事から「勤務について」、講義Ⅱでは、人事課の佐藤悦雄管理主事から「服務について」、講義・演習では、学校教育課の眞崎睦子指導主事から「児童生徒理解について」の話がありました。

コロナ禍ではありますが、先生方が共に力を合わせて、子供たちを笑顔にできるよう願っています。

教員は子供の成長に携わる仕事、将来に大きな影響を



教科書の裏表紙を見てください。

令和3年度に使用される全ての小中学校用教科書には、裏表紙等に無償給与制度の意義が掲載されています。

我が国の繁栄と福祉に貢献してほしいという願いを込めて、昭和38年から無償給与制度が実施されました。その意義を改めて考える取組をお願いします。



○予備の教科書を保管しておいたり、児童生徒数を過大に見込んで納入することはできない。
○長期欠席の児童生徒に給与する場合、学校に保管することなく、速やかに給与できない場合は、一度返付し、受け渡し可能な時に再度納入指示をするよう注意する。

【教科書の給与】

春夏冬話「あきない話」コーナー

「発見と驚きの春」



日本で一番美しいガ。大きな目玉模様。大きな目玉模様に力強さを感じませんか？

春の訪れを告げる大型の蛾 里山でイボタガ発見！

気持ち悪い？ いやいやなかなか面白い。じっと見入ると、対照的な模様的美しさに引き込まれる。擬態し、敵から身を守るその姿に釘付けになった。発見したときは、蛾名も分からず図鑑やネットで生態を探った。

子供たちと新たなスタートをする「春」。発見や驚きが身の回りにいっぱい。子供たちの「何だろう？」「どうして？」は、先生たちも一緒に楽しんで驚いて、探してみないと分からない。「詳しく教えて。」と言え、子供たちは喜んで調べ、先生や同級生の前でプレゼン能力を発揮する。

「先生、あのね。」の子供たちの声が聞こえる季節。先生と子供たちの進級・入学のスタートを応援したい。 (by S・K)